

独 標

西東京市立ひばりが丘中学校

第1学年

第41号

令和6年2月15日発行

スキー移動教室の作文、今回はC組です。宿泊行事を通じて「できないことができるようになる喜び」や「やらないよりやったほうがいい」などの気づきがありました。この経験を忘れずにさらに成長していけるといいですね。

滑れるようになる喜び

<敬称略>

C組

スキー教室はとても楽しく、忘れられない経験がたくさんできました。特に印象に残ったことはスキー実習です。

実習では、スキーが滑れるようになりました。はじめのころはスキー靴で雪の上を歩くこともままならず、転んでばかりでした。一方同じ班のみんなはすいすい上達していき「なんでそんなに上手なの…！」と驚きと尊敬の気持ちでいっぱいでした。何度トライしても転んでばかりで、一日目の夜には、「もう帰りたい…」と落ち込んでいました。二日目、一緒にリフトに乗ったインストラクターさんに、なかなか滑れないことを伝えると「大丈夫。あせらないで自分のペースでがんばれば滑れるようになる」と励ましてくださり、リフトから降りるとき、転ばないで止めると、とても明るくほめてくださりました。そこで私は、今まで自分の滑れなさに不満を言うだけで、上達しようという前向きな気持ちを忘れていたことに気が付きました。インストラクターさん、ひばり中に恩返しをするため、自分のためにもスキーを滑れるようになるぞ！と心に決めました。そこから実習の時はインストラクターさんの板をよく見て真似をしてみたり、スピードがついても怖がらず腰をひかないことで転びにくくなったりしました。三日目は同じ班の子たちと並んで楽しく広大な自然を眺めながら滑ることができました。「また行きたい！」とワクワクな気持ちが残っています。

私はスキー教室で、スキーが滑れるようになったように、できないことができるようになる喜びを学びました。レクでみんなと仲が深まったり、係の仕事に責任をもって行ったりしたことも大切な思い出です。このスキーでの経験を今後の学校生活にも活かしていきたいと思います。

保護者の皆様へ

スキー移動教室の返金についてのお知らせです。欠席でキャンセルをした人や当日に道具をレンタルした人などを含めて、現在近畿日本ツーリストがとりまとめをしているところです。日には未定ですが、年度内に返金予定ですので、今しばらくお待ちください。

C組

私はスキー教室を通して印象に残っていることが二つあります。

まず最初は滑れなかったことです。私は実をいうとスキーは最終日まで滑れませんでした。特に二日目はリフトでこけたり、全然上手にいかんかったりして、最後もう一回だけ滑ろうとなっていた時に滑るのが怖くなり滑るのをやめてしまいました。疲れていたのもありましたが自分のモチベーションもなくなっていたのだと思います。ですが、二日目の夜、最後にもう一回滑っておけば、という後悔から雪山に一人残される夢を三回くらい見ました。そこで私は「明日は絶対に後悔しないようにがんばろう」と心に決めました。三日目、最初は怖くて全然滑れなかったけど、最後の方にはスキーの楽しさを知り、上手に滑れるようになっていました。最後、自力で急斜面を滑ったときはうれしくてうれしくてたまりませんでした。

次はインストラクターさんの言葉です。リフトで一緒になったとき、私は「どうしてスキーのインストラクターになったんですか」と聞いてみました。すると「昔からスキーが好きだったからだよ」と答えてくれました。「昔からの積み重ねもあるかもしれないけど、一日目より上達していて練習したことが目に見えてくる。それはすごいことですよ。」というインストラクターさんの言葉は日常でもそうだと思う、力をもらいました。「やらないよりもやる」それだけで見る世界は全然違うという言葉に私は感心しました。また、今回は普通に生活していたら話さなかったであろう人とも関わる機会が多かったので人の温かさに触れたスキー教室でもありました。

「やらないよりもやる」という言葉はたぶん今後忘れないと思います。この三日間で学んだことを活かし、生活していきたいです。

